

国防は最大の
福祉である
初代会長 高橋季義



國の支え

中井信夫元大阪府議会議長

関西防衛を支える会
(略称・関防会)
〒541-0041
大阪市中央区北浜4-2-13
淀屋橋今西ビル3F
TEL 06-4256-4868 FAX 06-4256-4869
発行人 濱野晃吉
編集人 小野元裕
印刷所 (株)新聞印刷

第74号

(春季号)

平成30年4月1日(日)

(皇紀2678年)

(大正紀元107年)

(昭和紀元93年)

高橋忠義氏に会長を引き継ぐ



関西防衛を支える会は平成10年11月18日、初代会長・高橋忠義氏ら18人の発起人により設立されました。以来、本役員ならびに会員の皆様のご尽力、自衛隊・協力諸団体・特別顧問にご就任いただいている国会議員の皆様方にお力添えを賜りながら、今年で20周年を迎えます。会員数も700人を超え、関西地区の自衛隊支援団体として発展して参りました。この場をお借りして、改めて関係各位に深く感謝申し上げます。

まもなく後進に道を譲る立場として、この20年を振り返ってみたいと思えます。関防会創設当初は、この国の防衛に対する初代会長の強い信念の下、まずは会員拡充に向けて役員が一丸となって活動を続けました。阪神淡路大震災の3年後のことです。比較的国民の自衛隊に対する理解も深まりつつあり、会員数は順

調に増えていきました。初代会長の「国の防衛に与野党関係なし。国民が一丸となってこの国を守る体制を作らなければならない」との方針のもと活動し、会報「國の支え」に掲載の「国防は最大の福祉である」の名言は、現在の関防会のキャッチフレーズにもなっています。



も思い起こされます。

また、第2回歌唱祭は平成19年3月11日、兵庫県立芸術文化センターで開催されましたが、会場に入れない程の参加があり大盛況でした。

平成24年7月8日には大阪国際交流センターにて第3回歌唱祭を開催することができました。

当初の中心的事業でもある歴史勉強会「中島サロン」は、元副会長の故中島元氏が「日本人は真の歴史を知らな過ぎる。そもそも学校が、真の歴史を教えない。それゆえ、中国の南京大虐殺や、韓国の慰安婦問題など、事実無根のねつ造された歴史を押し付けられ、反論すべからぬ」と

嘆き、少しでも勉強していただく始まりました。この勉強会には、多くの知識人や自衛隊OBに講師をお願いし、様々な観点から、この国の在り方などを学び考える機会を作っていました。もちろん、初代会長にも多くのお話をいただきました。

創立20周年を迎えて

会長 濱野 晃吉

また、当会では、会報「國の支え」を年に4回発行しています。これは、初代会長の話を、多くの会員に文書で読んでもらおうと始めたのですが、会長の巻頭言だけでなく、中島サロンの講演要旨、研修旅行の様子、会員の投稿記事などで紙面を賑わすようになりました。新聞編集担当の新川貞敏編集長は、網膜剥離で医師から失明のおそれ

があるから止めるよう言われていたにも関わらず、一度も休むことなく発行を続けました。会報によって大いに会員拡大に繋がりました。

当会では、毎年、それぞれの理事が工夫をし、自衛隊の前面的な協力支援を得て、自衛隊開催の各行事、各駐屯地見学等の研修旅行や、2年に一度、海外での慰霊顕彰旅行を企画し、そのすべてが大きなトラブルもなく成功裡に終了しました。

慰霊顕彰旅行では、サイパン、フィリピン、ボルネオ、ミャンマー、パラオを訪問し、神仏両方での慰霊をさせていたが、神式では大阪護国神社・柳澤忠啓司

くため、故津村忠臣副会長と会社に訪問し、即就任のご承諾をいただいていたからであります。その津村副会長が初代会長から相談を受け、私に「関防会の次期会長に推薦していただくから引き受けるように」と言われ、前述の運びとなったのです。途中からの入会、右も左も分からぬまま会長に就きましたが、会の運営を一手に引き受けておられた前田 稔事務局長をはじめ、多くの理事や会員の皆様へ支えていただき、今日までこの会の発展に力を尽くすことができました。

私は高橋初代会長の想い、精神、大和魂を引き継いで、本会の運営は「皆で決め、一丸となって実践する」を旨とし、皆が協力して様々な祭事が執り行われてきました。支えてくださった理事役員、会員の皆様へ感謝を申し上げます。

会長職を務めさせていただいた12年の間、多くの方々との出会い、いろいろな経験がございました。

最後に申し上げますが、これまで支えていただいた役員の皆様、会員の皆様、そして、関係諸団体の皆様、協力をいただいた陸海空自衛隊の皆様、関係各位の皆様、心から感謝を申し上げます。新会長のもとで関防会がますます発展されることを祈念してご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

第21回・関西防衛を支える会
定時総会のご案内

日時 平成30年4月22日(日)
15:30~16:15 (総会)
16:30~18:00 (講話)

会場 神戸クリスタルタワー 3F
住所 神戸市中央区東川崎町1丁目
演題 「東アジアの戦略環境と日本の安全保障」
講師 番匠幸一郎氏 元陸上自衛隊西部方面總監(陸将)

関防会創立20周年船上祝賀パーティ
19時半出港 (約2時間)
神戸コンチェルトナイトクルーズ
〒650-0044
神戸市中央区東川崎1-6-1
電話:078-360-5600
夜景と音楽とお食事とお酒をお楽しみください。
チケット
12,000円
男女または女性ペア
カップルチケット
20,000円

第72回 関防会の歴史勉強会 中島サロンのご案内 関防会担当 菊池哲也 070-6923-5866 第73回

日時 平成30年4月7日(土曜日) 午後4時~
講師 加藤 昇氏
京都府京都市出身。1922年(大正11年)9月生まれ。1943年(昭和18年)9月、立命館大学法学部を繰り上げ卒業。海軍飛行科予備学生(第13期)として練習機課程を卒業後、第七艦隊重巡洋艦「最上」乗組。レイテ沖海戦のスリガオ海峡海戦に参戦。以後、第一航空艦隊、鹿屋海軍航空隊、大井海軍航空隊を経て、大東亜戦争の終戦を迎える。元士官として残務整理に従事後、1946年(昭和21年)1月、京都に帰郷(海軍中尉)。

演題 帝國海軍中尉が語る明日の日本へのメッセージ
会費 5,000円(飲食代含む)
学生会 2,000円
会場 錦城閣 ☎06-6941-2185
地下鉄谷町線・京阪電車「天満橋駅」直上
キャッスルホテル3F(中国料理店)

〈関防中島サロン拡大版〉
防衛講話と意見交換会
日時 平成30年6月30日(土曜日)
午前11時~午後2時(受付開始午前10時半より)
講師 海上幕僚長 海将 村川 豊氏
防衛大学校卒(第25期)
会費 5,500円(飲食代含む)
会場 プリムローズ大阪2階「鳳凰の間」
☎06-6941-1231
地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目駅」
下車1B出口より徒歩約1分(パスポートセンター2F)
要申し込み(同封チラシ)

関防歴史勉強会

中島サロン 第70回

平成29年 12月2日

竹島は韓国に取られています。昔から我が国の脅威は朝鮮半島経由が多いのです。元寇は言うに及ばず、応永の外寇は実は朝鮮半島から対馬に攻め込んできています。これは学校の教科書には載っていません。日清日露戦争、これも原因は朝鮮半島です。朝鮮半島の在留邦人は4万人と言われています。有事の際はどのように日本に帰すかですが、韓国政府は自衛隊の朝鮮半島島の上陸を認めません。いざという時、拉致被害者はどうするか、在留邦人はどうするのか。憲法が支障になるなら憲法を改正せよと誰も言いません。先日火星15号が1万4千キロ飛ぶと騒ぎますが、実は20年ほど前から日本は射程距離に入っています。Jアラートがで、先日鳴らしたら「朝早くから起すな」とか言っている人がいます。これが我が国の現実です。



次に武装難民についてです。11月は15隻日本海に来てます。これ以外に海の藻屑に消えている人もあります。工作船ではなく漁船です。ただ向こうは徴兵制ですから、必ず軍隊経験者です。軍の関係者が乗り込んでいて考えて間違いないと思います。

なポロポロの船でやって来るかという、食料がないからです。北朝鮮からほかの離れられた日本の排他的経済水域で漁をしているのです。日本へ行って捕まっても、北朝鮮の食糧事情より日本の監獄の方がいいから来るわけです。韓国・中国には行きません。なぜ日本にだけ来るかというと、手厚く保護してくれるからです。なぜあのポロポロで来るかというと、偏西風の影響です。北半球では風も海流も西から東なんです。つまり朝鮮半島から日本海に流れます。だからエンジンが故障しても海流に乗って着いてしまうのです。ということは、有事となれば北朝鮮の人達が日本に上陸します。1996年江陵浸透事件がありました。江原道江陵市において、韓国に侵入していた工作員を回収しに来た北朝鮮の特殊潜水艦が座礁してしまい、山の中逃げ込んで、26人が韓国内に逃亡、潜伏しました。その後の数千人がその26人を駆逐するのに49日間かかっています。10人位乗れる船が100隻着たら10000人です。

韓国はこうやって(柵の写真)東海岸を乗り越えられないように備えています。北の侵入に備えている。なぜならまだ朝鮮戦争が終わっていないからです。海上保安庁で日本海側で実働できる船は100隻もありません。もし上陸されたら地雷やクラスター爆弾で防ぎます。しかし、福田起夫首相の時禁止に署名していますから使えません。入国管理局は4千人しかいません。何万人単位

で難民が来たら対応できません。本来は自衛隊の出番なんです。そんな法整備がありません。このように危機が迫っても、疑問の声すら上がってきません。アメリカが国益を犠牲にしてまで日本のことを助けてくれるでしょうか。日本は半島有事で多大な影響を受けるにもかかわらず自国の意を表明できません。なぜなら、アメリカが何もしてくれない場合のことを考えていないからです。国会もマスコミもです。

北朝鮮はテロ国家です。有名なのは文世光、日本の交番から拳銃を盗んで当時の朴大統領を暗殺しようとしたが、奥さんにあたって殺されました。日本の警察官の拳銃で大統領が死んだら大問題です。北朝鮮は日本と韓国の仲が悪くなってほしいのです。ラングーン事件では、チョンドファン大統領を暗殺しようとした。次に大韓航空爆破事件。日本人のパスポートを持った金賢姫という女性が爆発物を設置しました。彼女があつたまま自殺していたら日本人が韓国機を爆破したことになりま。北朝鮮はなぜ日本を攻撃するか。日本が経済制裁をしているからです。日本から戦争を仕掛けられていると思っています。日本が大東亜戦争を始めたのも、アメリカ

悪口を言うマスコミはあまりありません。いつの間にか韓流ブームを言い始めたのが平成15年です。最大の懸案事項は竹島です。日本海の小さな島という人がいますが、どだけ領海が大きい。しかし、韓国は本島の敵なのではなく、背後にいるのは中国ではないかと思えます。沖繩の反基地運動もそうです。カナダでも南京の碑ができました。日本国内で土地の買い占めをしたり、企業買収したりしています。では、どうするか。安倍首相のうちに憲法改正しなければなりません。

日本は近代憲法を作った125年前から一度も自分の手で変えていません。明治憲法から今の憲法に変えましたが、それはアメリカ人が作ったものです。驚くべきことは平成22年、7年前まで憲法を変える具体的手続きがなかったことです。第一次安倍政権の時に具体的に決めた袋叩きに遭って、退陣に追い込まれました。この96条というのは無茶苦茶なんです。242人中81人が反対または棄権すれば発議さえ行うことができない。81人が反対すれば1億3千万人の意見は無視されます。国民の憲法を変える権利が奪われるのです。そもそも日本に成文憲法が必要かということです。「日本書紀」に書いてありますように、国民皆一つの家に住む「八紘一宇」という考えです。ですからヨーロッパの近代憲法を作った国と日本は全く違うのです。

領土領海を守るために(講演要旨)

元海上保安官 一色正春

力の経済制裁が原因です。たぐさんのミサイルが日本に落ちていきます。しかし、何の反応もしません。彼らは決してロシアや中国の方向へは打ちません。日本には多数の工作員がいますが、アメリカが何とかしてくれと思っています。

韓国は、北朝鮮を統一すべきと思っています。太陽政策、開城団地を開放したりして外貨を稼ぎました。日本には朝鮮総連を通じて北朝鮮に献金したお金がミサイルとなって返ってきています。文在寅大統領が盧武鉉の秘書室長だった時に毎年韓国は国連で人権委員会に北朝鮮の人権違反を訴えていました。盧武鉉大統領が今年どうすると聞くと、「北朝鮮に聞いてみましよう」と。北朝鮮が制裁を認めるわけがありません。そんな人が今大統領をやっています。李明博と朴槿恵も北朝鮮には厳しく対応していました。結局それが仇となって一種のクーデターで倒されたわけです。韓国は本心は統一を望んでない、望んでいるのは北です。統一するどころか、西ドイツのように韓国もものすごく貧乏になりますから。親北反日教育が問題です。日本人は殺してもいいと教えている。だから旭日旗を焼いても平気です。星条旗を焼いたらどうなりますか。韓国は日本の盾になってもうわなければならぬと思えます。北朝鮮や中国の盾になってもうべき存在だと思っています。1980年代まで日本のマスコミや知識人たちは韓国の悪口を言っ

ていました。逆に北朝鮮は地上の楽園だ、と。今、韓国の悪口を言うマスコミはあまりありません。いつの間にか韓流ブームを言い始めたのが平成15年です。最大の懸案事項は竹島です。日本海の小さな島という人がいますが、どだけ領海が大きい。しかし、韓国は本島の敵なのではなく、背後にいるのは中国ではないかと思えます。沖繩の反基地運動もそうです。カナダでも南京の碑ができました。日本国内で土地の買い占めをしたり、企業買収したりしています。では、どうするか。安倍首相のうちに憲法改正しなければなりません。

日本は近代憲法を作った125年前から一度も自分の手で変えていません。明治憲法から今の憲法に変えましたが、それはアメリカ人が作ったものです。驚くべきことは平成22年、7年前まで憲法を変える具体的手続きがなかったことです。第一次安倍政権の時に具体的に決めた袋叩きに遭って、退陣に追い込まれました。この96条というのは無茶苦茶なんです。242人中81人が反対または棄権すれば発議さえ行うことができない。81人が反対すれば1億3千万人の意見は無視されます。国民の憲法を変える権利が奪われるのです。そもそも日本に成文憲法が必要かということです。「日本書紀」に書いてありますように、国民皆一つの家に住む「八紘一宇」という考えです。ですからヨーロッパの近代憲法を作った国と日本は全く違うのです。

「第9条について話します。改めて読むと「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」となっています。普通の国はここまで書いていません。威嚇と言えは軍隊を持つこと自体が威嚇に当たるわけです。読み方によっては自衛隊存在そのものが憲法違反となります。第2項は「その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない」とあります。誰が日本に交戦権を認めないのか。この憲法を作ったアメリカです。アメリカはこの交戦権を認めません。そうすればスッキリ読めます。だから日本は軍隊を持ってないのです。ですから、自衛隊を解体するか憲法を改正するしかないのです。

軍隊は国家そのものを守るものです。時には人命の犠牲を伴います。東日本大震災の時にどこが一番活躍したか順番を付けるのはおかしいのですが、規模と活動においては自衛隊です。あの福島原発の上から水をかけましたが、警察や消防にはできません。やはり最後の切り札は自衛隊なのです。その役割を担って入っている人達に今のよう中途半端な地位で、軍事裁判所もない、殉職しても普通の国家公務員扱い、残された家族の保証もない、こんなことで日本を守ってくれと言えないのでしょうか。このまま中国やアメリカの属国になってしまうのか。何も考えず無責任な態度ではどうぞ許されません。日本のごとく我々国民が判断する、人任せにしている場合ではないという時期に来ました。

「第9条について話します。改めて読むと「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」となっています。普通の国はここまで書いていません。威嚇と言えは軍隊を持つこと自体が威嚇に当たるわけです。読み方によっては自衛隊存在そのものが憲法違反となります。第2項は「その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない」とあります。誰が日本に交戦権を認めないのか。この憲法を作ったアメリカです。アメリカはこの交戦権を認めません。そうすればスッキリ読めます。だから日本は軍隊を持ってないのです。ですから、自衛隊を解体するか憲法を改正するしかないのです。

軍隊は国家そのものを守るものです。時には人命の犠牲を伴います。東日本大震災の時にどこが一番活躍したか順番を付けるのはおかしいのですが、規模と活動においては自衛隊です。あの福島原発の上から水をかけましたが、警察や消防にはできません。やはり最後の切り札は自衛隊なのです。その役割を担って入っている人達に今のよう中途半端な地位で、軍事裁判所もない、殉職しても普通の国家公務員扱い、残された家族の保証もない、こんなことで日本を守ってくれと言えないのでしょうか。このまま中国やアメリカの属国になってしまうのか。何も考えず無責任な態度ではどうぞ許されません。日本のごとく我々国民が判断する、人任せにしている場合ではないという時期に来ました。

アンドリー：初めて日本に来たときに気づいたのは「あ、ウクライナと似ているんだな」ということです。何が似ているかということ、危機意識が全くないということ、

長尾：それちょっと意外でしたね。ウクライナって隣は陸続きでいくつぐらいいの？

アンドリー：陸の国境は7カ国あるんですけども。実は独立してから23年間はずっと平和が続いていて、

長尾：国防、軍事とか、そういうところをちゃんとしてなくてもやっていけるじゃないかという意識がほとんど国民の共通認識になっ

アンドリー：だから毎年防衛予算が削られていて、兵器とか軍力はだんだん減らされていて、おおよそ兵器と兵隊の数で言えば、元の数の8分の1しか残っていません。

長尾：8分の1になった?!

アンドリー：減らされたんですよ。

よ。アンドリー：そうですね。長尾：核兵器もね、弾頭など。

アンドリー：一番ヨーロッパに近かったから非常に兵器が多かったんです。まあ連合体で結構兵器が撤去されたんですけど、残った軍隊でもなかなか強かったんです。戦車は6千輛あったし、兵隊の数も78万人もいて、戦闘機も、爆撃機も、軍艦もたくさんあったんです。

ボケがあるんじゃないかという気がします。ただ問題はウクライナの場合は国民だけじゃなく指導者まで平和ボケしてしまっていて、指導者まで軍事力とか防衛は大事ではないという意識を持っていて、それで大規模な軍縮が行われました。それで、軍縮が行われて、ウクライナはほとんど無防備になってしましました。無防備になったところで、ご存じのとおりロシアに攻撃されて戦争が起きました。日本のマスコミでは最近全然報道されなくなりましたけれど、実は今でも戦争が続いていて、毎日人が殺されているんです。

長尾：日本には情報が全く入っていないね。アンドリー：平和主義者は、非武装平和、武装を解除したら平和になるというんですけど、ウクライナの現状は違いますよ。この話を今の日本で話してもどれほど通じるのでしょうか。

長尾：なるほどね。日本の場合、多分海に囲まれていたというのがとても大きいと思う。海の上だから。

アンドリー：日本人に足りないものは、当事者意識なんじゃないかという気がします。ミサイルが飛んでも、領空侵犯があっても、なんかにどこかで、なんとかくまあそれは国の問題で自分の生活は関係ないというところがあります。

長尾：そこが問題だね。

新春対談

日本とウクライナの危機意識を考える

京都大学大学院生 アンドリー・グレンコ氏 × 衆議院議員 長尾 たかし氏



その平和の間は国民がなかなか平和ボケしてしましました。そういうところも日本と似ています。周りは友好国ばかりだと思っ、これから21世紀になるし冷戦も終わっているし、もう戦争が起きるはずがない。そして、相手もいらない。だから特に安全保障とか防衛のことをそこまで考えなくてもいいじゃないかと。

長尾：旧ソビエトの時にや

アンドリー：そうですね。長尾：核兵器もたくさんあつたんです。核兵器は1700発の核弾頭を持っていたんですよ。今の中国やイギリスより多いです。しかし、それも全部放棄したんです。通常兵器もこんなに減らしてしまっほとんど無防備に近い状態になりました。

長尾：旧ソビエトの時にや

アンドリー：そうですね。長尾：核兵器もたくさんあつたんです。核兵器は1700発の核弾頭を持っていたんですよ。今の中国やイギリスより多いです。しかし、それも全部放棄したんです。通常兵器もこんなに減らしてしまっほとんど無防備に近い状態になりました。

長尾：旧ソビエトの時にや

アンドリー：そうですね。長尾：核兵器もたくさんあつたんです。核兵器は1700発の核弾頭を持っていたんですよ。今の中国やイギリスより多いです。しかし、それも全部放棄したんです。通常兵器もこんなに減らしてしまっほとんど無防備に近い状態になりました。

